

## 第40回山形市農政審議会議事録

- 1 開催日時 令和4年9月7日(木) 午後1時30分～午後3時30分
- 2 会場 山形商工会議所 5階 大ホール
- 3 出席者
  - (1) 審議会委員 出席者17名、欠席者3名
  - (2) 幹事 出席者10名、欠席者6名
  - (3) 事務局  
農政課長、農政課長補佐、農政企画係長、営農改善係長、農産係長、  
就農・経営支援係長、6次産業推進係長  
農政企画係員(2名)、農産係員(1名)
- 4 傍聴者  
無し
- 5 議事
  - 議第1号 会長及び副会長の選任について
  - 議第2号
    - (1) 第6次山形市農業振興基本計画の見直しについて
    - (2) 第6次山形市農業振興基本計画の中間検証について
    - (3) 第6次山形市農業振興基本計画の見直し方針について
    - (4) 見直しのスケジュールについて

## 6 内容

- (1) 開会（農政課長補佐）
- (2) 委嘱状の交付（市長）  
任期 令和4年9月7日から答申終了日
- (3) 市長挨拶  
（公務により挨拶後退席）
- (4) 事務局から報告、紹介等
  - ①委員紹介
  - ②幹事紹介
- (5) 議事  
議第1号

会長・副会長の選任

仮議長

委員の互選により、1号委員 小林 裕明委員を選任

議事録署名委員の指名（仮議長）

1号委員 星野 みち子委員

2号委員 庄司 稔委員

選考委員の選任（仮議長）

1号委員 笹原 史恵委員 鹿野 高志委員

2号委員 広谷 五郎左エ門委員 中野 信吾委員

3号委員 大築 義雅委員

会長・副会長選考委員会開催

### 結果

委員の互選により、会長に小沢互委員、副会長に大山敏弘 委員を選出

- (6) 会長・副会長挨拶
- (7) 審議事項（内容は以下のとおり）

<議第2号>

事務局

（議第2号「(1) 第6次山形市農業振興基本計画の見直しについて」説明）

議長

ただ今の説明に対して、ご意見・ご質問等ございませんか。

委員

ダイジェスト版の5基本目標（2）に「風雪害等の気象災害が少ない恵まれた環境」と記載があり、確かに以前はそのような認識されていたと思いますが、昨今の災害の状況を見ると、そう言えるのだろうかと感じました。

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | 山形市においても大雨被害や凍霜害など、気象災害による被害はありますので、検討していきたいと思います。   |
| 議長  | 次に（２）の中間検証についてお願いします。  |
| 事務局 | （議第２号「（２）第６次山形市農業振興基本計画の中間検証について」説明）   |
| 議長  | ただ今の説明に対して、ご意見・ご質問等ございませんか。  |
| 委員  | 現状値が中間目標値を達成していたり、最終年の目標値を達成していたりすることがわかりました。生産とマーケットの関係で価格は揺れ動いている状況にあります。コロナの影響等によって、ものによっては価格上昇していますが、消費の低迷によって価格が低減しているものもございます。目標に掲げた数値というのは、市の状況を見ながら、更には全国の標準的な数値など色々なデータを参考にしていると思います。その中でさらに一段とレベルアップしていくには、販売することによる農業所得の向上、買取価格の向上による収益の増にどうつなげていくかということが重要になっています。今年の米の作付が生産の目安を達成している中で、果たして米価がどういう方向になるのか、価格上昇に転ずることができるのかということをお農家の方は注目しています。こういった検討機関がどういう形で影響力を行使できるのか。ある程度買取価格が上がらなると農業の持続性や農業者の減少に歯止めがかからなくなるとなるとは思います。レベルアップしている点や目標数値を評価しながら、計画を進めていただきたいと思います。 |
| 事務局 | ご意見ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症が拡大するにしたがって、農作物の価格に影響が出てきております。昨年度は米価が下落し、農業者の所得が減少してしまうという状況になっています。私どもも支援策は講じますけれども、社会情勢の把握が大事と感じています。ウクライナの関係で資材も高騰しており、多大な影響ができております。国全体の課題かとは思いますが、その辺も捉えながら施策に反映していきたいと思います。   |
| 委員  | 基本目標（１）②担い手等への農地集積割合について、最終目標値が75となっていますが国では80になっていると思うので、数値の修正をしてみたいと思います。  |

- 事務局 本日のところは達成状況の報告ですが、ただ今のご意見を踏まえ、今後上方修正などについても検討してまいります。
- 委員 GAP の問題がありますが、オリンピックやパラリンピックのための取組みということではなく、これからを見据えた農業の商品価値です。未来を見据えて、これは本当に大変なことだと思いますが、生産者もこれを表示することによって安全・安心が消費者に伝わり、購入の目印として GAP の商品を買おうかということになりますので、進めていただければいいなと思います。もう一つ、担い手の問題かと思いますが、産直等で新鮮なものを安心して食べているのですが、農産物の出荷量の減少が懸念されることについては、具体的な政策というか、生産量を増やす、みなさんの購買力を活かす取組をしていただければと思います。
- 事務局 GAP は生産工程を管理できる制度なので、その広報や認証を受けられやすくなる支援策を検討していきたいと思えます。それから担い手不足ですが、農業者の高齢化が進んでおりまして、新規就農者への支援ということで国や県だけでなく市単独の制度も用意して支援している状況ですが、毎年ばらつきがございまして、就農者の確保が難しい状況になっています。今後も新規就農者を獲得できるように支援していきたいと考えております。
- 委員 私も GAP に取り組んでおりますのでみなさんからお聞きしたいと思えます。両市場、生活協同組合、消費者連合会のみなさんがいらっしゃいますので、GAP の必要性について、販売サイド、消費者サイドでどれくらいあるのか伺いたいと思えます。実際に GAP を更新するにあたって非常に経費がかかります。個人取得で20万程度毎年かかります。法人で5、60万程度かかるので、生産者の負担が大きく、取る人もいればやめる人もいるのが現状です。行政からの話でなく、皆さんの話を伺いたいと思えます。
- 委員 オリンピックのために国は普及活動をしましたが、実際はそれほど増えませんでした。それは、今の話にあったように費用がかかること、その費用が価格に反映されないためです。しかし、今、イオンさんやセブンアンドアイさんはまた求めつつあります。社会の求めるものと現状があまり

に違いすぎるということが普及しない理由かなと思います。以前にイオンさんが有機栽培のグリーンアイブランドに力を入れたことがありましたが、高温多湿の日本の気候、また価格に反映されないということでこれも普及しなかった。GAP も普及しづらいのかなと思っています。国連も GAP は進めないという方向になっています。スーパーで200円を超える野菜を消費者はかごにいれない現状です。その一般常識を変えないと、生産者は減少するのではないかなと思います。

委員 若い担い手の方がなかなか生産に結びつかないということでもありますけれども、魅力的な農業とはどういうものなのでしょう。山形市で全国トップの品目としてデラウェア、ラ・フランス、さくらんぼ等、全国に通用するような品目があるわけで、県外の生産者から見れば魅力ある産地だと感じています。しっかりとした市場からの発信とか、地元農協とセットで全国に向けて発信をするとか、安定したラインをつくるとか、産地市場としての役割は大きく、農協とのセット販売ですとか、安定した収入につなげるのが大事なことはないかと思っています。全国のバイヤーは、山形市民、県民の方々は地元農産物をおいしく食べており、他の場所より生産者と消費者の結びつきが強く消費力が高いと言っています。地元のものおいしいと地元消費者はわかっているわけですから、我々も地元だけでなく全国に発信できるような体系をつくり、若い方も農業が儲かると感じられるお手伝いをしていきたいと思っています。

委員 GAP の関係で申し上げますと、生協の店頭にも GAP の野菜はありますが、GAP という認証制度を知っている消費者がほとんどいません。生協の理事の皆さんも知らない方ばかりで、私も知ったのは2年ほど前です。GAP の生産者の方に先ほど話を聞いて、すごいことをやっているのだなと思いました。60万円もかかるのも知りませんでした。こんなにいい制度なのになぜみんな知らないのか、もしくは知らせていないのかわかりませんが、産直ではどのようなになっているのか気になるなと思いました。

委員 生協さんでは2030年からGAPの商品しか使わないという話をされているようです。イオンさんの話もありましたが、このような現状では、山形市の農産物がGAPを取得

するのは非常に少ないのではないかと危ぶまれます。  
JGAPは120項目クリアしなければならない、県版GAPは60項目を80項目まで上げると言っていますが、120項目まで上げてJGAPと同じような形にしてほしいというような要望をしておりますので、市からも要望していただきたいと思います。

議 長 それでは(3)第6次山形市農業振興基本計画の見直し方針について、事務局より説明願います。

事 務 局 (議第2号「(3)第6次山形市農業振興基本計画の見直し方針について」説明)

委 員 基本計画の目標値「(3)市民と農業をつなぎ健康で笑顔溢れるくらしの確立」に付け加えたらいいのではないかと  
いう提案です。生協では有機農産物や減農薬農産物を共同購入で消費者に提供しています。また食育を大事に考えて  
おりまして、親子で収穫体験をし、調理して食べるという  
ような食育体験をしております。トマトやピーマンが嫌いな  
こどもも、収穫して調理をすると食べるようになるんです  
ね。私たちも似たような体験があるかと思いますが、そ  
ういう体験型食育というのが農産物を好きになることに  
貢献しているなどと思います。もう一つは見直し方針で「消  
費者による食の安全・安心への関心の高まりや、食生活や  
ニーズの多様化により農業が注目されている。」とありま  
すように、消費者目線にも立っているようです。消費者は  
安全・安心な食に敏感で、特にこどものアレルギー問題も  
あるものですから、子育て世代で関心が高いと感じていま  
す。また野菜嫌いなこどももいるものですから、食育の観  
点も大事なことだと思います。安全・安心なものは地元産  
だと私は思うのですが、地元産の食材にこどもが親しむよ  
うなことを指標に加えたらいいのではないのでしょうか。学  
校での食育体験や給食で地元食材を提供するとか、色々な  
団体でも食育体験をやるとか、食育と地産地消という項目  
を指標に入れていただければいいのではないかと思います。

もう一点みどりの食料システム戦略についてです。事前に  
他県の状況を調べ、加えて先ほどの説明を受けてですけれ  
ども、安全安心な食料の提供に絡むシステム作りだなと感  
じました。肥料も飼料も食料の輸入品も高騰しています。  
持続可能な食料生産が厳しいということで、持続可能なシ

システム作りが急務になっていると思います。堆肥作りから食料生産、販売、消費までふまえた地産地消の取組みが急務となっていると思います。例えば長井市のレインボープランのような家庭食材残渣の活用、山形市でも下水処理場で堆肥作りをやっていていると思いますが、そういう下水道資源の活用とか、生産者と消費者については地元の生産物は地元で消費するというような市役所の取組みを改めて強化するなど考えられます。それら様々な考えを結び合わせた山形みどりの循環システムみたいに名付けて加えてもらえたらと提案させていただきます。その流れの中で、生産されたものを市民自身が応援したくなるもの、例えば「地産愛消やまがた」などと名付けてポスター、掲示板、ステッカーなどで生産者や小売店を含めた市民運動につなげられたらいいかなと思います。

委員 関連しまして、みどりの食料システム戦略の実現について、山形は、米、野菜、花き、園芸、畜産なんでも対応可能なところですよ。優れた農業産地なので、環境に配慮した農業も他にない実績があるわけです。有機農業の推進なり堆肥の活用なり、地域の強みを生かした農業の中に、ぜひ減農薬という数値目標と共に有機農業の確立なり、さらに国ではこの法律を施行後、この法律を実現するためにかなり強力な施策を打ち出しています。有機農業や地域資源の活用、農業者らの共同の取組みを協力で支援すると発表していますので、ぜひ先進的な施策に取り組んでいただきたいと思います。そうすることによって食の安全・安心がさらに高まり、生産都市やまがたから消費都市やまがたになります。これほどまでに地元産を消費する市として、山形市は中核市の中でトップスリーに入っています。そういうことでさらに生産者、消費者の連携が強まっていくと思います。ぜひそのあたりを要望させていただきます。

委員 今回は中間見直しということで、この期間の中で世界各国大きく変わりました。特にウクライナにロシアが侵攻した結果、肥料における原材料の価格が高騰しており、その中でみどりの食料システム戦略の新しい取組みが出てきたわけです。この中で有機肥料が大きく見直されているわけですが、当農協にも堆肥センターという施設があります。2、3年前、まだみどりの食料システム戦略がなかったときには閉鎖しようかという流れがあったわけですが、このような話の中で、有機肥料を見直していかなければな

らないと内部でも検討しているところです。有機農業の取り組み面積を25%に拡大と概要に書かれていますので、ぜひ今回中間見直しということで、見直しの中にももっと具体的な数値を入れてもらって、有機肥料に目を向ける様な施策を打ってほしいと思います。

委員 今回の基本計画についてですけれども、農業戦略本部会議での決議事項にも関わってくると思いますが、山形市では園芸団地でセルリー、きゅうり、シャインマスカット、桃など積極的に取り組んでいただいていることに敬意を表するところです。その中で、スマート農業、DXについても非常に意欲的に新しい実装事業に取り組まれているとお聞きしています。山形県でもスマート農業推進は、人手減少、高齢化の流れがあり、若い人が入ってきても熟練の農家の方の技術はすぐには習得できない、そういった中でデジタルの技術を活用しようとしています。いろいろデジタル化の方法もございますので、県と連携して進めていただければいいなと思います。2点目はサクランボについてですが、今年は後半非常に暑くなってロスが多くなりました。ここまで暑くなるとは正直思っていなかったのですが、こういうことが続くと、佐藤錦が山形県の品種の7割を占めているわけですが、佐藤錦に偏りすぎていて、それが裏目に出ているということなのかなと思っています。山形紅王は来年度本格販売ですが、頑張っって進めていきたいと思っています。就農相談に来られましてもサクランボを作りたいという人が以前に比べて少なくなっていて残念に思っております。サクランボは労力もかかって、出ていくお金も大きい作物ではあるのですが、サクランボは山形県でも山形市でも重要な作物であると思いますので、我々も一緒に振興していきたいと思っています。もう一つ、女性の活躍推進ということでございます。敢えて女性という言葉を使わないという考えもございますが、女性が農業経営に積極的に関わっているところは非常に儲かっていると統計データがあります。女性の活躍についてはいろんな塾を作ったりして推進しているわけですけど、今後の検討事項の一つとしてご検討いただければと思います。

議長 それではまとめて事務局から回答をお願いします。

事務局 様々なご意見ありがとうございます。まず一点、食育・地産地消の視点でございますけれども、生産者の視点は大変



重要ですし、農業の体験学習も大変重要だなと考えております。私どもも様々な事業をしておりますけれども、食育・地産地消についても推進しているところです。山形市においては食育・地産地消推進計画というものもございまして、ちょうど来年から新たな計画というところで現在そちらの策定も進めています。この農業振興基本計画が上位になりますので、その内容も踏まえましてこちらにどういった項目がふさわしいのかも含めて検討していきたいと思っております。次にみどりの食料システム戦略への対応ですけれども、有機農業といいましても、農薬や化学肥料を使わない農業となりますと、その生産性について農業者にとっては重要な問題になります。また有機農産物を消費者からどのように購入していただけるかという視点も大事なのではないかと私たちは思っているところです。それを含めまして今後検討していきたいと思っております。また地産地消を山形市だとわかる印はどうだろうかというご提案についても、今後の検討課題にさせていただきたいと思っております。また肥料の問題につきましても、堆肥等の肥料は資源として大事なものだと考えておりますので、支援策も含め考えていきたいと思っております。それからスマート農業の推進、サクランボの生産についてですが、山形といえばサクランボがございまして、サクランボの生産振興をなんとか進めていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をいただいて検討していきたいと思っております。それから女性の活躍ですが、県でも支援策を準備していただいておりますので、こういうものも活用しながら進めていきたいと思っております。

- 議長 他にはございませんでしょうか。
- 委員 最近、新聞やテレビでも、雨や防災の絡みで田んぼダムということを知ります。田んぼの多面的な機能というのはよく知られていますが、貯水機能を見出して、防災面にも寄与できるのではないかとという視点なわけですが、でも本当にそういう機能が期待できるのか、いろんな課題があるのだろうなとは思いますが、田んぼダムという機能が期待できるのだとすれば、そういう役割を検討する余地があるのであれば、検討してもいいのかなと思っております。
- 委員 田んぼダムにつきましては、山形市でも1つ2つ興味をもっている地区がございまして、補助金のかさ上げ措置もある

ものですから、そちらを活用できないかと検討している地区がありますので、一緒になって検討を進めたいと思っています。もう一つ、先日新聞にありましたが、置賜地区の方で県が勉強会といますか実証実験を行っております。その辺も県と情報を共有し一緒に進めていけたらと考えております。

議 長 それでは次に進みます。(4) 見直しのスケジュールについて、事務局より説明願います。

事 務 局 (議第4号「(4) 見直しのスケジュールについて」説明)

議 長 会議は1月中旬になりますが、それ以前に書面で意見をいただくようになります。スケジュールについて、よろしいでしょうか。

議 長 予定の時間をオーバーしてしまいましたが、本日の審議を終了します。ご協力ありがとうございました。

(8) 閉会 (農政課補佐)